

社会資本総合整備計画  
都市再生整備計画 事後評価シート  
八王子駅周辺地区

平成26年3月

東京都八王子市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都		市町村名	八王子市		地区名	八王子駅周辺地区			面積	170ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	5,096.0百万円	国費率	40.00%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(とちの木通り、八王子11号線、八王子24号線)、公園(六本杉公園、子安公園、片倉城跡公園)、地域生活基盤施設(サイン)、高質空間形成施設(南口駅前公衆トイレ、LED演出照明、モニュメント時計、ベンチ、ソーラー照明)、高次都市施設((仮称)新市民会館、八王子駅南口自由通路、北口マルベリーブリッジ)										
		提案事業	地域支援創造事業(情報発信センター)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間(LED演出照明)	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		基幹事業	高質空間(モニュメント時計)	別事業により実施したことから削除した			なし						
		基幹事業	高質空間(ベンチ)	寄贈により設置を行ったことから削除した			なし						
		基幹事業	高質空間(ベンチ)	市民からの寄付により設置を行ったことから削除した			なし						
		基幹事業	高質空間(ソーラー照明)	別事業により実施したことから削除した			なし						
	新たに追加した事業	提案事業											
		基幹事業	地域生活基盤施設(情報版)	実施事業の整備方針が固まり、事業個所を増やすこととなったため追加した			なし						
		基幹事業	道路(八王子134号線、八王子151号線、長小路通り、ジョイ五番街通り)	実施事業について詳細が固まったことから追加した			なし						
提案事業													
交付期間の変更	当初	H21年度～25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
変更													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	JR八王子駅の乗降客数	人/日	164,000	平成20年度	167,280	平成25年度		165,042	△	あり	平成20年度以降、JR八王子駅の乗降客数は一日平均約4,000人減少しているなか、新市民会館や情報発信センターが完成した平成23年度以降、段階的に増加し従前値を上回るまでに回復しており、新市民会館や地域情報発信センターの整備等によるまちの魅力の向上が一定の効果を発現させた。	H26年8月
	指標2	新市民会館利用者数	人/年	293,631	平成19年度	298,798	平成25年度		301,892	○	あり	JR八王子駅南口の再開発ビル内に新市民会館を設置したことにより、大幅に利用者数を増やすことができ、指標の達成につながった。	H26年5月
	指標3	JR八王子駅南口自由通路の歩行者数	人/日	25,600	平成19年度	28,200	平成25年度		73,913	○	あり	新市民会館、南口自由通路、JR八王子駅南口駅前広場、道路及び各公園の整備により、八王子駅の安全性・利便性と駅周辺地区の魅力の向上により、利用者が増えたことで、指標の達成につながった。	H26年4月
	指標4										あり		
指標5										あり			

3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の 数値指標1	なし		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の 数値指標2	なし												
	その他の 数値指標3	なし												
4)定性的な効果 発現状況	・八王子駅南口周辺に新たなにぎわいが創出されており、拠点都市としての求心性は回復傾向と言える。 ・新市民会館や情報発信センターは開設以降9割以上の非常に高い稼働率を維持しており、新市民会館や情報発信センターの活用を通じて、本市の文化振興が図られるとともに、市内外から多様な来訪者をまちに呼び込んでいる。													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
							都市再生整備計画に記載しておらず、実施しなかった							
	住民参加 プロセス	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
							都市再生整備計画に記載しておらず、実施しなかった							
	持続的なまちづくり 体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
都市再生整備計画に記載しておらず、実施しなかった							●							

## 様式2-2 地区の概要

### 八王子駅周辺地区(東京都八王子市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 集客機能と公共利便性を兼ね備えた都市中心拠点としての機能強化と回遊性をもった落ち着いた歩きやすいまちづくり 目標1: 八王子駅南口周辺の都市再生の起爆剤として、多様な集客機能を配した都市機能を整備し、都市中心拠点としての機能強化を図る。 目標2: 市民の利便性を強化した機能の充実や集いの空間を創出し、駅周辺の活性化を図る。 目標3: 八王子駅南口周辺の公園や湧水を活用した回遊性ルートの開発。	JR八王子駅の乗降客数	単位: 人/日	164,000 H20	165,042 H24
	新市民会館利用者数	単位: 人/年	293,631 H19	298,798 H25
	JR八王子駅南口自由通路の歩行者数	単位: 人/日	25,600 H19	28,200 H25
		単位:	H	H
		単位:	H	H

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

**まちの課題の変化** 新市民会館等が整備され、新市民会館の利用者数や南口自由通路の歩行者数が増加しており、拠点都市の再生に向けた整備が進みつつある。また、八王子駅周辺の国有地等の活用に向けた検討も進んでいる。しかしながら、今後も八王子駅周辺地区の拠点性を高める必要があり、引き続き、広域集客の目的地の整備を進めるとともに、本市全体のまちづくりに資する国有地等の活用に向けた検討を継続していくことが求められる。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)** 整備効果の持続・改善、まちの課題の変化等に対応するため、広域集客力の強化や新市民会館等利用者数増加に向けたまちづくりに取り組む。  
 ・新市民会館や公園等に加え、八王子駅周辺の国・所有地の有効活用等により、複数の広域集客の目的地を整備する。  
 ・八王子駅周辺の魅力・回遊性の向上に資するため、駅周辺道路・サインの整備・管理に加え、八王子駅来訪の目的地となる所有地や国有地の活用に向けた検討を継続する。  
 ・新市民会館や公園等の各施設については、PRやイベント広報を強化するとともに、利便性の向上を図りつつ安定的に運営する。